

2018年7月18日～2018年9月15日の間に まび記念病院敷地内に設置した仮設診療所において 診療を受けられた方およびそのご家族の方へ

岡山大学大学院医歯薬総合研究科 疫学・衛生学分野において、「西日本豪雨被災地の病院内仮設診療所における医療環境に関する検討」と題した内容の研究を行おうとしております。つきましては、皆様のご協力をお願い申し上げます。

研究の詳細に関しましては、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学教室のホームページ<http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/>を参照いただけます。

（概要）

洪水発生時には多くの被害がもたらされますが、その後も自宅内外での避難生活を余儀なくされた被災者の方々におかれましては、洪水または避難生活を原因とする疾患が現れ、普段とは違う医療が必要となることがあります。今回の洪水でAMDA(特定非営利活動法人)が医療法人和陽会まび記念病院と一般社団法人吉備医師会にて設置しました救護所にて診療を受けられた皆様のカルテの情報を基に、水害被災地の救護所における日々の疾患の移り変わりや受診形態の変化をとりまとめたいと考えています。この研究に使用する情報として、カルテから情報を抽出し使用させていただきますが、個人情報扱いません。研究にカルテ情報が使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、令和2年12月31日までの間に、下記連絡先までお申し出ください。また、その他この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。宜しく願いいたします。

<問い合わせ・連絡先>

岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野

責任者 : 教授 頼藤 貴志

連絡先 : 平日9:00～18:00 086-235-7170

平日夜間・土日・祝祭日(留守番電話)

ファックス : 086-235-7178

<研究組織>

情報の提供のみを行う機関

医療法人和陽会 まび記念病院

病院長 村松 友義